

一般質問



徳田 議員

○公共交通網の整備について

質 旧松浦市の乗り合いバスは平成14年度から、鷹島は平成21年度の架橋後乗り合いタクシーが運行されている。計画では、令和5年度に福島地域でデマンド交通を導入しますとのこと。西肥バスや地元業者等への説明検討スケジュールを伺いたい。

地域経済活性化課長 西肥自動車株式会社では福島循環線を含めた路線の見直しなどの取り組みが行われています。そのためデマンド型乗り合いタクシーの導入についても西肥自動車株式会社と足並みをそろえて取り組み、協議を行っています。また地元事業者などへの説明などのスケジュールは、令和4年度の早い段階で事業者を選定し、令和5年度中の事業実施に向けて具体的な協議を進めていきます。

質 業者選定の予定はどうなりますか。

地域経済活性化課長 令和3年度中に計画を策定し、庁内の協議も整えて、方針が決定次第、具体的な協議に入りたいと考えています。

質 伊万里市や唐津市までつなぐ公共交通網整備ができませんか。

地域経済活性化課長 乗り合いバスについては、国の補助金を受ける関係から、都市間交通との路線バスと連携することが要件になっており、直接伊万里まで乗り合いバスを運行させるとなると、補助金の関係もあり、さまざまな協議が必要になってきます。

○わくわくお出かけ支援事業について

質 大変良い事業だと思うが、施設利用券と外出支援券の利用実績はどうなっていますか。

長寿介護課長 施設利用券申請者数は3524人、交付者における利用率は24・93%。外出支援券申請者数は4460人、交付者における利用率は73・65%（令和2年度）です。

質 施設利用券を外出支援券に活用できませんか。また、一本化できませんか。

長寿介護課長 まずは高齢者の皆さんや関係団体の意見を踏まえながら本事業のあり方について改めて検討していきたいと考えています。

質 松浦市福島町観光宿泊施設の施設利用券として利用できませんか。

長寿介護課長 現在、施設利用券の温泉利用については、2カ所利用がされています。旧つばき荘については今後、見直し後に継続して使えるようにするのであれば、これから相談をしていきたいと思っています。

一般質問



水 議員

○福島大橋の現状と今後の見通しについて

質 福島大橋が万一通行止めとなった場合に想定される影響をどのように捉えているのか。

防災課長 通勤、通学、通院、買い物など、経済活動において非常に広範囲に及ぶと考えられます。

質 福島大橋が一時的であっても、通行止めとなった場合の対応方針を伺いたい。

防災課長 通行止めに至った原因や経緯などにより対応も変わってくるため、具体的な対応策に言及することは難しいですが、近隣における直近の事例として、平戸市において大橋が通行止めになった際の対応としてチャーター船が運航されており、同様の対応が必要になるかと考えられます。国、県および関係防災機関と連携して、住民の皆さまへの影響を最小限にとどめるよう迅速に対応していきます。

○空き家の現状と対策について

質 危険家屋を解消するための取り組みの実績と、政策を進める上での主な課題について。

都市計画課長 松浦市老朽危険家屋除却支援事業により、老朽化した危険な空き家住宅の除却費用の一部を助成しており、平成27年度から令和3年度までに70件の老朽危険家屋が除却されています。また、令和2年度には、行政代執行による1件の空き家の除却を行っています。

空き家対策における課題としては、空き家の所有者が市外在住で管理に支障を来している、経済的な理由により除却・改修などの対応ができない、未登記家屋で所有者が確知できない物件や相続放棄などによる所有者不在の物件があるなどが考えられます。

質 移住支援員の配置による具体的な成果および今後の目標について。

政策企画課長 令和3年度の移住相談件数が、2月末時点において前年度より7件多い34件となっています。また、年度末までに9世帯27人が本市へ移住される見込みとなっています。また、令和3年度には、産品戦略「松浦の極み」の一つであるメロンについて、後継者問題を解決するため、地域おこし協力隊を活用したモデルケースのプランニングを行いました。

今後の目標は、松浦の魅力に関する情報発信の強化、また、きめ細かい移住相談対応を行うことで、さらなる移住者の増につなげていきたいと考えています。